

1日目：7月10日(金) プログラム

A 会場 (B1F 第1 展示場 A)

8:50～9:00 開会式

9:00～11:00 特別企画1【臨床研究の魅力】

抄録 P. 63

座長：森田 明理（名古屋市立大学 皮膚科）

門野 岳史（聖マリアンナ医科大学 皮膚科）

SP1-1 空間オミクスによる三次リンパ様構造解析

中村元樹（なかむら もとき）

名古屋市立大学 皮膚科

SP1-2 その先になにを目指すのか～臨床研究を進める際に意識したいこと～

宮下 梓（みやした あずさ）

熊本大学 皮膚科

SP1-3 メラノーマ診療におけるリキッドバイオプシーの現在地と展望

木庭幸子（きにわ ゆきこ）

信州大学 皮膚科

SP1-4 TIL 療法における Bench to Bed

猪爪隆史（いのづめ たかし）

千葉大学 皮膚科

11:10～11:40 石原・池田賞表彰式・発表

12:00～13:00 ランチョンセミナー1【メラノーマの薬物療法、上皮系皮膚悪性腫瘍の薬物療法】

抄録 P. 93

座長：竹之内辰也（新潟県立がんセンター新潟病院 皮膚科）

並川健二郎（国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科）

LS1-1 NMSC における薬物治療戦略

吉野公二（よしの こうじ）

がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科

LS1-2 オブジーボ・ヤーボイ併用療法の使いどころについて考える

藤澤康弘 (ふじさわ やすひろ)

愛媛大学 皮膚科

共催：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社/小野薬品工業株式会社

13:10~14:10 特別講演 1

抄録 P. 58

座長：奥山 隆平 (信州大学 皮膚科)

SL1 腸内細菌叢とがん

大谷直子 (おおたに なおこ)

大阪公立大学 病理生理学

14:20~16:20 教育講演 3 【皮膚悪性腫瘍レジストリの現状と今後について】

抄録 P. 75

座長：藤澤 康弘 (愛媛大学 皮膚科)

福島 聡 (熊本大学 皮膚科)

EL3-1 皮膚悪性腫瘍レジストリの現状と今後について：悪性黒色腫

藤澤康弘 (ふじさわ やすひろ)

愛媛大学 皮膚科

EL3-2 乳房外パジェット病レジストリの活用と展望松下茂人¹ (まつした しげと)、福島 聡²、吉野公二³¹NHO鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科、²熊本大学 皮膚科、³がん研有明病院 皮膚腫瘍科**EL3-3 皮膚悪性腫瘍レジストリ研究 (JSCaRS) 皮膚血管肉腫**加藤裕史¹ (かとう ひろし)、帆足俊彦²、山本有紀³、奥山隆平⁴、加藤則人⁵¹名古屋市立大学 皮膚科、²日本医科大学 皮膚科、³和歌山県立医科大学 皮膚科、⁴信州大学 皮膚科、⁵京都府立医科大学北部キャンパス**EL3-4 皮膚悪性腫瘍レジストリの現状と今後—皮膚リンパ腫—**宮垣朝光¹ (みやがき ともみつ)、島内隆寿²、藤井一恭³¹聖マリアンナ医科大学 皮膚科、²浜松医科大学 皮膚科、³近畿大学 皮膚科

16:30~17:30 招請講演

抄録 P. 56

座長：爲政 大幾 (医誠会国際総合病院 皮膚科)

IL Immune checkpoint inhibition for melanoma : a Nobel-prize winning treatment revolution!

Axel Hauschild

Department of Dermatology, University Hospital Kiel, Germany

座長：加藤 則人（京都府立医科大学北部キャンパス）

SL2 悪性黒色腫のウイルス療法
 藤堂具紀（とうどう ともき）
 東京大学医科学研究所

B 会場（B1F 第 1 展示場 B）

9:00～10:00 教育講演 1 【若手必見！皮膚外科の基本】

抄録 P. 71

座長：高井 利浩（兵庫県立がんセンター 皮膚科）
 前川 武雄（自治医科大学さいたま医療センター）

EL1-1 皮膚悪性腫瘍切除における基本戦略—術前評価と切除計画—
 田中 了（たなか りょう）
 川崎医科大学 皮膚科

EL1-2 皮膚悪性腫瘍切除後の再建について
 緒方 大（おがた だい）
 宮崎大学 皮膚科

10:10～11:10 教育講演 2【日常診療で迷う皮膚腫瘍の病理診断—その診断、本当に合ってる？】

抄録 P. 73

座長：小川 浩平（市立奈良病院 病理診断センター）
 後藤 寛之（大阪公立大学 皮膚科）

EL2-1 菌状息肉症の病理診断とその組織学的鑑別
 入江浩之（いりえ ひろゆき）
 京都大学 皮膚科

EL2-2 あなどってはいけない皮膚線維腫とその鑑別
 後藤寛之（ごとう ひろゆき）
 大阪公立大学 皮膚科

12:00～13:00 ランチョンセミナー 2【シカプラストリベアクリーム B5+のがん治療中の患者との併用の可能性と意義】抄録 P. 95

座長：森田 明理（名古屋市立大学 皮膚科）

LS2-1 がん薬物療法に伴う皮膚障害のメカニズムと治療継続のためのマネジメントの重要性について

山崎直也（やまざき なおや）
国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

LS2-2 がん薬物療法に伴う皮膚障害に対するダーマコスメの展望

山本有紀（やまもと ゆき）
和歌山県立医科大学 皮膚科

共催：日本ロレアル株式会社ラロッシュポゼ

14:20～15:20 教育講演 4【皮膚悪性腫瘍の診療の未来】抄録 P. 79

座長：並川健二郎（国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科）

EL4-1 第3次 AI ブームの 10 年の変遷と皮膚腫瘍診断

志藤光介^{1,2}（しどう こうすけ）、藤澤康弘²
¹東北大学 皮膚科、²愛媛大学 皮膚科

EL4-2 オンライン診療とリキッドバイオプシー

中野英司（なかの えいじ）
国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科

C 会場（B1F 大会議室）

9:00～10:00 一般演題 1【BCC①】抄録 P. 119

座長：帆足 俊彦（日本医科大学 皮膚科）
石川 雅士（埼玉県立がんセンター 皮膚科）

C-1-1* 両側鼠径リンパ節転移と肺転移をきたした外陰部基底細胞癌の 1 例

金谷 萌（かなや もえ）、宮本鈴加、光井康博、竹村千穂美、杉浦景子、濱川健太郎、
新熊 悟
奈良県立医科大学 皮膚科

C-1-2* 左腹部基底細胞癌切除後の左鼠径リンパ節転移の 1 例

井波真矢子（いなみ まいこ）、宇野 敢、岩田紘佳、出月健夫
NTT東日本関東病院 皮膚科

C-1-3*

破壊性に硬膜まで浸潤した鼻背部基底細胞癌の1例

齋藤暢胤 (さいとう まさつぐ)、井上裕太、高橋芳乃、中野 瞬、中島瑞穂、
齋藤晋太郎、安田正人、茂木精一郎
群馬大学 皮膚科

C-1-4

兎径・外腸骨リンパ節転移を認めた basosquamous carcinoma の1例

小池貴之^{1,3} (こいけ たかゆき)、越智康之¹、吉田貴弘¹、湯原瑞希¹、左田野幹生¹、
長瀬真実子²、山崎 修¹
¹島根大学 皮膚科、²島根大学 器官病理学、³社会医療法人仁寿会 加藤病院

C-1-5

外踝に生じた Basosquamous cell carcinoma の1例

松田 翠¹ (まつだ みどり)、久米典子¹、丸山諒也¹、田嶋安紀¹、清原隆宏²、谷崎英昭¹
¹関西医科大学 皮膚科、²関西医科大学総合医療センター 皮膚科

C-1-6*

右下眼瞼基底細胞癌に対して Medial tarsal suspension で後葉再建した1例

井藤美紅¹ (いとう みく)、小久保健一¹、大井皓介¹、室田悠美子¹、藤原文麗¹、
廣江謙信¹、東館佳奈¹、林 礼人²
¹横浜市立大学市民総合医療センター 形成外科、²横浜市立大学 形成外科

C-1-7

側方進展の評価にマッピング生検が有用であった infiltrative type 再発後頸部基底細胞癌の1例

前田宗人¹ (まえだ むねと)、山村優人¹、西村和敏¹、白居駿也¹、藤井一恭¹、大塚篤司¹、
中川浩一²
¹近畿大学 皮膚科、²大阪府済生会富田林病院 皮膚科

10:10~11:15 一般演題2【付属器腫瘍①】

抄録 P. 121

座長：長野 徹 (神戸市立医療センター中央市民病院 皮膚科)
吉川 周佐 (静岡県立静岡がんセンター 皮膚科)

C-2-1

汗孔癌のリンパ節転移にニボルマブが奏効した1例

田頭良介 (たがしら りょうすけ)、川原 祐、有馬美音、松澤高光、山本洋輔、猪爪隆史
千葉大学 皮膚科

C-2-2

肛門部の腺様嚢胞癌の1例

石黒暁寛¹ (いしぐろ あきひろ)、深浦彰子¹、前賢一郎¹、澤井康真¹、入澤亮吉¹、
梶原真奈美¹、後藤啓介²、長尾俊孝²、原田和俊¹
¹東京医科大学 皮膚科、²東京医科大学 人体病理学分野

C-2-3*

ニボルマブが著効した spiradenocarcinoma の1例

岩崎のりこ¹ (いわさき のりこ)、原 知之¹、堀 善和²、岩橋吉史³、山本有紀¹、
神人正寿¹
¹和歌山県立医科大学 皮膚科、²和歌山県立医科大学 腫瘍センター、
³和歌山県立医科大学 病理診断科

C-2-4 センチネルリンパ節生検を実施した皮膚付属器癌 64 例における臨床的特徴の検討

前田拓哉 (まえだ たくや)、関山竜五、青木佐由美、石月翔一郎、上原治朗、吉野公二
がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科

C-2-5* PIK3CA p.E542K 変異を有し mTOR 阻害薬に反応した SCAND の 1 例
佐藤聡真^{1,2} (さとう そうま)、今福恵輔¹、成瀬早紀¹、田中有沙¹、有賀 伸³、氏家英之¹
¹北海道大学 皮膚科、²静岡県立静岡がんセンター 皮膚科、³北海道大学 腫瘍内科**C-2-6* 皮膚分泌癌(secretory carcinoma of the skin)の遠隔転移に対する NTRK 阻害薬の治療経験**

吉川未雪 (よしかわ みゆき)、六戸大樹、原 憲司、赤坂英二郎
弘前大学 皮膚科

C-2-7* 眼瞼縁に発生した皮膚原発分泌癌の 1 例

高野英華¹ (たかの えいか)、中里信一²、大塚拓也^{2,3}、堀内美恵¹、本田 進¹、木村 中¹
¹函館中央病院 形成外科、²函館中央病院 病理診断科、³北海道大学 病理診断科

C-2-8 骨盤内リンパ節転移を認めた右腋窩原発アポクリン腺癌の 1 例

土居礼一 (どい れいいち)、名嘉眞健太、嘉多山絵理、古賀浩嗣
久留米大学 皮膚科

12:00~13:00 ランチョンセミナー 3 【再発・難治の皮膚リンパ腫治療アップデート】

抄録 P. 97

座長：菅谷 誠 (国際医療福祉大学 皮膚科)

LS3-1 成人 T 細胞白血病・リンパ腫における治療戦略と課題

牧山純也 (まきやま じゅんや)
佐世保市総合医療センター 血液内科

LS3-2 進行期皮膚 T 細胞リンパ腫 (CTCL) に対する同種造血幹細胞移植の適応：最新エビデンスに基づくアップデート

藤 重夫 (ふじ しげお)
大阪国際がんセンター 血液内科

共催：株式会社ミノファージェン製薬

座長：木庭 幸子（信州大学医学部 皮膚科）
猪爪 隆史（千葉大学 皮膚科）

C-3-1 メラノーマ細胞内在性 Tim-3 の阻害による MAPK 依存性腫瘍形成への関与について

伊藤祐太^{1,2}（いとう ゆうた）、Tobias Schatton^{2,3}、Steven Barthel²、延山嘉真¹、朝比奈昭彦¹

¹東京慈恵会医科大学 皮膚科、

²Harvard Skin Disease Research Center, Department of Dermatology, Brigham and Women's Hospital, Harvard Medical School、

³Department of Medicine, Boston Children's Hospital, Harvard Medical School

C-3-2 メラノーマ微小環境における CXCL14 と肥満細胞の相関

川上聡経¹（かわかみ あきのり）、Sanjay Lietzau¹、Mitchell C. Cutler²、Miroslav Hejna^{2,3}、Jun S. Song^{2,3,4}、梶島健治¹

¹京都大学 皮膚科、²Department of Physics, University of Illinois Urbana-Champaign、

³Institute for Genomic Biology, University of Illinois Urbana-Champaign、

⁴Cancer Center at Illinois, University of Illinois Urbana-Champaign

C-3-3 メラノーマにおける腫瘍微小環境形成にはネスチン陽性細胞とメラノーマ細胞が関与する

小原宏哉（おばら こうや）、菅原依理子、増澤真実子、荒川伸子、浜田祐子、天羽康之、北里大学 皮膚科

C-3-4 メルケル細胞癌における空間トランスクリプトミクスと血中ケモカイン解析

吉満真紀¹（よしみつ まき）、中村元樹¹、真柄徹也¹、加藤裕史¹、酒井愛子²、杉山真也²、溝上雅史³、森田明理¹

¹名古屋市立大学 皮膚科、

²国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 感染病態研究部、

³国立健康危機管理研究機構 国立国際医療研究所 ゲノム医科学プロジェクト

C-3-5 抗 EGFR (epidermal growth factor receptor) 抗体薬によるざ瘡様皮膚炎に対する EGF 含有軟膏の第一相試験

清原祥夫¹（きよはら よしお）、伏木邦博²、吉川周佐¹、對馬隆浩²、大嶋琴絵²、佐藤 哲³、桑 哲雄³、丸山宏二⁴、盛 啓太⁵、山崎健太郎²

¹静岡県立静岡がんセンター 皮膚科、²静岡県立静岡がんセンター 消化器内科、

³静岡県立静岡がんセンター 薬剤部、⁴静岡県立静岡がんセンター 研究所 実験動物管理室、

⁵静岡県立静岡がんセンター 臨床研究支援センター 統計解析室

C-3-6 抗 PD-1 抗体の術後補助療法と骨格筋量の関連の検討

山川浩平¹（やまかわ こうへい）、栗田裕介²、愛知正裕³、石川秀幸¹、山口由衣¹

¹横浜市立大学 皮膚科、²横浜市立大学 肝胆膵消化器病学、³横浜市立大学 産婦人科学

座長：吉田 雄一（鳥取大学 皮膚科）
藤本 徳毅（滋賀医科大学 皮膚科）

C-4-1 脂腺母斑に合併した二次腫瘍 36 例の臨床病理学的検討

青木恵美（あおき めぐみ）、岩田昌志、戸澤貴久、生駒宗禎、島田邦彦、後藤啓介、
藤井一恭、松下茂人
鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科

C-4-2* 基底細胞癌との鑑別を要し、前額皮弁と耳介軟骨複合組織移植にて再建した鼻尖部毛芽腫の 1 例

早川将史^{1,2}（はやかわ まさし）、足立真実¹、坪井憲司^{1,2}、古川洋志²
¹名古屋掖済会病院 形成外科、²愛知医科大学 形成外科

C-4-3 ポリープ状眼瞼外脂腺癌の 1 例

中里信一¹（なかざと しんいち）、堀内美恵²、大塚一輝²、本田 進²、木村 中²、
外丸詩野^{1,3}、阿南 隆⁴
¹函館中央病院 病理診断科、²函館中央病院 形成外科、³北海道大学 病理診断科、
⁴札幌皮膚病理診断科

C-4-4 左下腿に生じた毛母癌の 1 例—ダーモスコピー・超音波検査による鑑別の検討—

宇佐美圭恵（うさみ たまえ）、金子高英、矢野大輔、江口 令、齋川真子、加藤 塁、
岸 龍馬、高森建二、須賀 康
順天堂大学浦安病院 皮膚科

C-4-5 リンパ節転移を伴う右大腿後面脂腺癌に対して Nivolumab を投与した 1 例

長久大介¹（ちょうきゅう だいすけ）、梅本尚可¹、山本直人²、福田友紀子³、前川武雄¹
¹自治医科大学さいたま医療センター 皮膚科、
²自治医科大学さいたま医療センター 形成外科、
³自治医科大学さいたま医療センター 放射線科

C-4-6 熱傷瘢痕から生じた脂腺癌の 1 例

堀本浩平（ほりもと こうへい）、加藤潤史、松井馨之、織田美琴、檜崎 緑、
藤江千果、小林朗大、鈴木隆太郎、宇原 久
札幌医科大学 皮膚科

座長：吉野 公二（がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科）
中村 元樹（名古屋市立大学 皮膚科）

C-5-1 婦人科癌術後に発症した Stewart-Treves 症候群の 2 例

瀬川康二郎¹（せがわ こうじろう）、藤村 卓¹、矢萩陽子^{1,2}、山崎絵美¹、小林愛里¹、
玉淵恵里佳¹、武藤雄介¹、高橋隼也¹、神林由美¹、浅野善英¹
¹東北大学 皮膚科、²大崎市民病院 皮膚科

C-5-2*

頭部血管肉腫の止血難治例に対し選択的動脈塞栓術が奏効した2例

佐久本政彬¹ (さくもと まさあき)、柳 輝希¹、大城結衣¹、三宅 瑠¹、小宮山紗代¹、
兼島明子¹、豊里 駿²、嘉陽安美子²、安座間善明²、高橋健造²

¹琉球大学 皮膚科、²琉球大学 放射線科

C-5-3

乳癌治療後に生じた放射線関連血管肉腫の4例

中川智絵¹ (なかがわ ともえ)、小松麻衣¹、高橋千晶¹、中島香織²、北田正博³、藤田靖幸¹

¹旭川医科大学 皮膚科、²旭川医科大学 放射線医学講座、³旭川医科大学 乳腺外科

C-5-4

頭部血管肉腫に対する電子線治療と強度変調放射線治療の効果および副事象の比較

増澤真実子¹ (ますざわ まみこ)、川上正悟²、小原宏哉¹、佐々木梓¹、水口竜之介¹、
佐藤栄佳¹、天羽康之¹

¹北里大学 皮膚科、²北里大学 放射線治療科

C-5-5

放射線治療を施行したメルケル細胞癌の2例

村田愛美¹ (むらた まなみ)、浦上侑子¹、河野志帆¹、石浦信子¹、浅越健治¹、丸中秀格²、
片山敬久³、川上佳夫⁴、田邊 新⁵

¹岡山医療センター 皮膚科、²岡山医療センター 耳鼻科、

³岡山医療センター 放射線治療科、⁴岡山大学 皮膚科、⁵岡山大学 放射線科

C-5-6*

対側リンパ節乾酪壊死性肉芽腫を伴った原発消退型メルケル細胞癌の1例

金武敬人¹ (かねたけ たかひと)、石塚洋典¹、藤本 学¹、壽 順久²

¹大阪大学 皮膚科、²ことぶき皮膚科

D 会場 (B1F 特別展示場 B)

9:00~10:00 一般演題3【メラノーマ①】

抄録 P. 123

座長：小森 崇矢 (えいご皮膚科)

谷崎 英昭 (関西大学 皮膚科)

D-1-1

イピリムマブ+ニボルマブ療法で間質性肺炎を発症した後にニボルマブ単剤で再開した悪性黒色腫の1例

山根有里子^{1,2} (やまね ゆりこ)、後藤寛之¹、鶴田大輔¹

¹大阪公立大学 皮膚科、²育和会記念病院 皮膚科

D-1-2

下肢の完全麻痺を認め、irAEによる脊髄炎と脊椎転移の鑑別に苦慮したメラノーマの1例

藤森一希^{1,2} (ふじもり かずき)、前賢一郎²、早川数馬²、澤井康真²、石黒暁寛²、
入澤亮吉²、山崎 純³、石田尚利⁴、原田和俊²

¹戸田中央総合病院 皮膚科、²東京医科大学 皮膚科、³東京医科大学 神経内科、

⁴東京医科大学 放射線科

D-1-3* 多発遠隔転移を来しながら集学的治療により長期生存を得た BRAF 変異陽性進行期悪性黒色腫の 1 例

栗崎道賢¹ (くりさき みちとし)、瀬下治孝¹、酒井良樹¹、加瀬美咲¹、鹿毛勇太¹、
中野英司¹、山崎直也¹、横山恵美²、並川健二郎¹

¹国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科、²獨協医学大学埼玉医療センター 皮膚科

D-1-4 アブスコパル効果を認めた原発不明悪性黒色腫の 1 例

日浦 梓 (ひうら あずさ)、大芦孝平、石川雅士

埼玉県立がんセンター 皮膚科

D-1-5* 遺伝子パネル検査で BRAF 遺伝子変異が明らかになった進行期悪性黒色腫の 1 例

池畑竜一郎¹ (いけはた りゅういちろう)、川原 祐¹、田頭良介¹、岩波佑典¹、
鈴木啓仁¹、松坂恵介²、猪爪隆史¹

¹千葉大学 皮膚科、²千葉大学 診断病理学

D-1-6 ニボルマブ投与後に筋炎を生じた悪性黒色腫の 1 例

加藤毬乃 (かとう まりの)、鎌田啓文、三浦慎平、天野博雄

岩手医科大学 皮膚科

D-1-7 眼球摘出術後の残存病変に重粒子線治療を行うことで、眼瞼を温存できた右眼球眼瞼結膜悪性黒色腫の 1 例

鎌田啓文¹ (かまだ ひろふみ)、三浦慎平²、天野博雄²

¹岩手県立中央病院 皮膚科、²岩手医科大学 皮膚科

10:10~11:10 一般演題 4【メラノーマ②】

抄録 P. 125

座長：緒方 大 (宮崎大学 皮膚科)

肥田 時征 (札幌医科大学 皮膚科)

D-2-1 術後後療法抗-PD1 抗体投与後に心筋炎と重症筋無力症を生じ死に至った母指悪性黒色腫の 1 例

横山恵美 (よこやま めぐみ)、須山孝雪、松木康譲、高橋栞奈、須長幸嗣、片桐一元

獨協医科大学埼玉医療センター 皮膚科

D-2-2 悪性黒色腫に対する免疫チェックポイント阻害薬治療中に末梢神経障害と腸管虚血を発症した 1 例

掛地由貴人¹ (かけじ ゆきと)、高津奈津美¹、入江浩之¹、遠藤雄一郎¹、河村祐貴²、
木村公俊²、梶島健治¹

¹京都大学 皮膚科、²京都大学 脳神経内科

D-2-3* KIT 変異陽性外陰部粘膜悪性黒色腫に対してイマチニブを使用した 1 例

酒井伽奈¹ (さかい かな)、山本有紀¹、三谷のり子¹、神田真美²、神人正寿¹

¹和歌山県立医科大学 皮膚科、²新宮市立医療センター 皮膚科

D-2-4 当科で BRAF/MEK 阻害薬の再投与を行った進行期悪性黒色腫の 3 例
西尾次郎 (にしお じろう)、清水恭子、大石京介、前田進太郎、濱口儒人、松下貴史
金沢大学 皮膚科

D-2-5 当科における鼻腔悪性黒色腫に対する免疫チェックポイント阻害剤の治療経験
早川数馬 (はやかわ かずま)、石黒暁寛、前賢一郎、入澤亮吉、原田和俊
東京医科大学 皮膚科

D-2-6 イピリムマブ・ニボルマブ併用療法中に Stevens-Johnson 症候群を生じた
転移性悪性黒色腫の 1 例
佐々木亘 (ささき わたる)、松原大樹、前 人美、菅 崇暢、田中暁生
広島大学 皮膚科

D-2-7 領域リンパ節郭清術困難例への ICI 投与が奏効し、手術侵襲を軽減できた右足
底悪性黒色腫の 1 例
田頭良介¹ (たがしら りょうすけ)、川原 祐¹、宮内真穂¹、萩原一貴¹、吉野啓純¹、
山本洋輔¹、池田純一郎²、猪爪隆史¹
¹千葉大学 皮膚科、²千葉大学 病理診断科

12:00~13:00 ランチョンセミナー 4

抄録 P. 99

座長：吉川 周佐 (静岡県立静岡がんセンター 皮膚科)

LS4 メラノーマの治療における術後補助療法の役割：エビデンスと実臨床への応用
藤村 卓 (ふじむら たく)
東北大学 皮膚科

共催：MSD 株式会社

14:20~15:20 一般演題 10 【メラノーマ③】

抄録 P. 137

座長：宮下 梓 (熊本大学 皮膚科)

佐々木奈津子 (産業医科大学 皮膚科)

D-3-1* irAE 脳炎と irAE 肝炎を合併し診療に難渋したメラノーマの 1 例
小泉彩佳 (こいずみ あやか)、鶴田成二、鈴木結梨佳、土井彩奈未、並木 剛、
沖山奈緒子
東京科学大学 皮膚科

D-3-2 ペムブロリズマブ投与後に免疫関連有害事象として食道炎を生じた悪性黒色
腫の 1 例
大村裕樹¹ (おおむら ゆうき)、奥村健吾¹、坂本理佳¹、前川亜耶¹、金坂 卓²、大江秀一¹
¹大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科、²大阪国際がんセンター 消化管内科

D-3-3

ポナチニブが奏効した KIT 変異陽性の肛門原発悪性黒色腫の 1 例

松本薫郎¹ (まつもと ゆきろう)、新川紗由香¹、平井郁子¹、中村善雄¹、舩越 建¹、
水野孝昭²、中村康平²、西原広史²、井上裕太³、安田正人³

¹慶應義塾大学 皮膚科、²慶應義塾大学 がんゲノム医療センター、³群馬大学 皮膚科

D-3-4*

原発部と完全奏効達成後の転移巣に対し免疫チェックポイント阻害薬と放射線療法が奏効した肛門部粘膜黒色腫

笹岡佑輔¹ (ささおか ゆうすけ)、門口佳乃子¹、富尾颯生¹、池田 彩¹、大江秀一²、
爲政大幾¹

¹医誠会国際総合病院 皮膚科、²大阪国際がんセンター 腫瘍皮膚科

D-3-5

当科における進行期悪性黒色腫に対するニボルマブとペムブロリズマブの比較検討

森 龍彦 (もり たつひこ)、入江絹子、山本俊幸

福島県立医科大学 皮膚科

D-3-6*

完全奏効後に免疫チェックポイント阻害薬の投与間隔の延長を行った悪性黒色腫の 1 例

松井馨之 (まつい よしゆき)、加藤潤史、肥田時征、堀本浩平、前田理沙子、宇原 久
札幌医科大学 皮膚科

D-3-7

愛知県内 2 施設における悪性黒色腫 in transit 転移の治療経験

森章一郎^{1,2} (もり しょういちろう)、宮崎 朗¹、本田 直¹、山田元人²、秋山真志¹

¹名古屋大学 皮膚科、²豊橋市民病院 皮膚科

15:30~16:10 一般演題 11【メラノーマ④】

抄録 P. 139

座長：並木 剛 (東京科学大学 皮膚科)

日浦 梓 (埼玉県立がんセンター 皮膚科)

D-4-1

背部悪性黒色腫対して BRAF/MEK 阻害薬にて長期完全寛解後の中止により再発するも再開にて再奏功を認めた 1 例

横見明典 (よこみ あきのり)、河合莉央、直原成美、須藤ゆか、後藤範子

市立豊中病院 皮膚科

D-4-2

ニボルマブ投与中に副腎不全、劇症 1 型糖尿病、扁平苔癬を順次発症した肺転移を伴う悪性黒色腫の 1 例

吉田貴弘 (よしだ たかひろ)、上野彩夏、山崎 修

島根大学 皮膚科

D-4-3

術後 30 年目に再発した左頬部原発悪性黒色腫の 1 例

阿部夏実^{1,2} (あべ なつみ)、小森崇矢¹、井上禎夫¹、吉川周佐³、清原祥夫³、鈴木 正⁴、
土田哲也²、中村泰大¹

¹埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科、²埼玉医科大学 皮膚科、

³静岡県立静岡がんセンター 皮膚科、⁴諏訪皮膚科クリニック

D-4-4

Thin melanoma で遠隔転移を来した 7 例のまとめ

石月翔一郎¹ (いしづき しょういちろう)、青木佐由美¹、関山竜五¹、鈴木魁杜¹、
前田拓哉¹、上原治朗¹、後藤啓介²、秋谷昌史²、北野滋久³、吉野公二¹

¹がん研究会有明病院 皮膚腫瘍科、²同 病理部、³同 先端医療開発科

D-4-5

小児期から存在した色素斑上に生じた悪性黒色腫：過去 20 年における当科の集計

渡邊幸奈 (わたなべ ゆきな)、森 龍彦、山本俊幸

福島県立医科大学 皮膚科

E 会場 (B1F 特別展示場 A)

9:00~10:00 一般演題 5 【SCC①】

抄録 P. 127

座長：鹿児島 浩 (富山大学 皮膚科)

横見 明典 (市立豊中病院 皮膚科)

E-1-1

巨大ボーエン病術後に Li-Fraumeni 症候群と診断した 1 例

石川耕資¹ (いしかわ こうすけ)、北條正洋¹、佐々木雄輝¹、徐 東經¹、三浦隆洋¹、
有賀 伸^{2,3}、山田崇弘⁴、前田 拓¹

¹北海道大学 形成外科、²北海道大学病院 腫瘍内科、³北海道大学病院 がん遺伝子診断部、

⁴北海道大学病院 臨床遺伝子診療部

E-1-2

温熱性紅斑上に生じた多発有棘細胞癌・ボーエン病の 1 例

賀嶋 希¹ (かしま のぞみ)、脇 裕磨²、伊藤祐太²、延山嘉真²

¹東京慈恵会医科大学柏病院 皮膚科、²東京慈恵会医科大学 皮膚科

E-1-3

腫瘍随伴性に抗利尿ホルモン不適合分泌症候群 (SIADH) を呈した上口唇原発有棘細胞癌の 1 例

谷本玲奈¹ (たにもと れいな)、西原克彦²、桑折信重²、吉田 諭²、八束和樹²、
武藤 潤²、白石 研²、藤澤康弘²

¹市立宇和島病院 皮膚科、²愛媛大学 皮膚科

E-1-4

骨髓癌腫症を合併した項部 Spindle cell carcinoma

川本雅也¹ (かわもと まさや)、立花宏太¹、栗山修平²、森実 真¹

¹岡山大学 皮膚科、²岡山赤十字病院 形成外科

E-1-5

KID 症候群に合併し有棘細胞癌を反復した一卵性双胎例

永田沙希 (ながた さき)、佐々木奈津子、太田円莉、河本宏文、天方葉子、澤田雄宇
産業医科大学 皮膚科

E-1-6 センチネルリンパ節生検陰性後にリンパ節転移を来した外陰部有棘細胞癌の1例干川 敦士¹ (ほしかわ かと)、帆足 俊彦¹、大谷 咲貴¹、刀 柁 勇樹¹、前林 勝也²、佐伯 秀久¹¹日本医科大学 皮膚科、²日本医科大学 放射線科**E-1-7 臀部化膿性汗腺炎から発生した有棘細胞癌の1例**赤坂 有妃子¹ (あかさか ゆきこ)、佐藤 貴彦¹、五十嵐 光汰¹、齊藤 陽平¹、能登 舞¹、
石河 軌久²、河野 通浩¹¹秋田大学 皮膚科、²大曲厚生医療センター 皮膚科

10:10~10:50 一般演題 6【脈管系腫瘍①】

抄録 P. 129

座長：増澤 真実子 (北里大学 皮膚科)

大芦 孝平 (埼玉県立がんセンター 皮膚科)

E-2-1 臨床的に紫斑・出血の所見が乏しく診断に苦慮した頭部血管肉腫の1例

奥井 爽介 (おくい そうすけ)、人見 勝博、福田 知雄

埼玉医科大学総合医療センター 皮膚科

E-2-2* 乳がん術後放射線照射部位に生じた右前胸部血管肉腫の1例野村 千晴 (のむら ちはる)、呉 暄、伊丹 綾香、岡野 達郎、宮垣 朝光、門野 岳史
聖マリアンナ医科大学 皮膚科**E-2-3* 頭部血管肉腫に合併したトルソー症候群の1例**本田 直 (ほんだ すなお)、服部 いくみ、奥村 真央、太田 真衣、宮崎 朗、森章 一郎、
秋山 真志

名古屋大学 皮膚科

E-2-4 診断に難渋した頭部血管肉腫の1例

石原 英理 (いしはら えり)、永濱 陽、宮崎 梨香子、高井 利浩

兵庫県立がんセンター 皮膚科

E-2-5* 頭部血管肉腫治療中に発症したギラン・バレー症候群の1例佐々木 雅子¹ (ささき まさこ)、日置 紘二郎¹、本間 拓也²、田中 了¹、青山 裕美¹¹川崎医科大学 皮膚科、²川崎医科大学 脳神経内科

12:00~13:00 ランチョンセミナー 5【メラノーマ治療の「現在地」と「今後の展望」】

抄録 P. 100

座長：松下 茂人 (鹿児島医療センター 皮膚腫瘍科)

LS5-1 メラノーマ診療ガイドラインから考える治療選択 患者に寄り添った診療を目指して

福島 聡 (ふくしま さとし)

熊本大学 皮膚科

LS5-2

症例ディスカッション 日本人 BRAF 陽性メラノーマ治療
ー「長期生存を目指す治療」をともに考えるー

加藤裕史 (かとう ひろし)
名古屋市立大学 皮膚科

ディスカッサント

福島 聡 (ふくしま さとし)
熊本大学 皮膚科

共催：ノバルティス ファーマ株式会社

14:20～15:35 一般演題 12 【リンフォーマ】

抄録 P. 141

座長：清原 英司 (大阪大学 皮膚科)
入江 浩之 (京都大学 皮膚科)

E-3-1

血管内リンパ腫診断におけるランダム皮膚生検の最適化：採取深度に基づく
後方視的検討

角総一郎¹ (かど そういちろう)、金 美娟²、佐藤篤子¹、神谷浩二¹、中村 潤³、
山本 祐⁴、河田浩敏⁵、前川武雄²、大槻マミ太郎¹、小宮根真弓¹

¹自治医科大学 皮膚科、²自治医科大学さいたま医療センター 皮膚科、

³自治医科大学 アレルギーリウマチ科、⁴自治医科大学 総合診療科、

⁵自治医科大学 病理診断科

E-3-2*

原発性皮膚辺縁帯 B 細胞リンパ腫の幼児の 1 例

武藤容典¹ (むとう よしのり)、小川陽一¹、大石直輝²、七五三掛蒼²、大館 徹²、
笠井 慎³、犬飼岳史³、近藤哲夫²、島田眞路¹、川村龍吉¹

¹山梨大学 皮膚科、²山梨大学 人体病理学、³山梨大学 小児科

E-3-3*

ベキサロテン療法によると考えた薬剤性肺障害を伴った菌状息肉症の 1 例

山形 周¹ (やまがた しゅう)、宮垣朝光¹、堀江明弘¹、西 由紘²、門野岳史¹

¹聖マリアンナ医科大学 皮膚科、²聖マリアンナ医科大学 呼吸器内科

E-3-4*

眼瞼下垂を呈した眼窩内 MALT リンパ腫の 1 例

飯田悠太 (いいだ ゆうた)、丸山彩乃、嶋村尚己、大嶺佑実、山本梨乃、中村健太郎、
高溝真成、清水健司、福本 毅

京都府立医科大学 皮膚科

E-3-5

ベキサロテン 50mg/m²の低用量で治療効果を得た皮膚病変を有するくすぶり型 ATLL の 1 例

野上京子 (のがみ きょうこ)、持田耕介、緒方 大

宮崎大学 皮膚科

E-3-6*

トモセラピーが著効した毛包向性菌状息肉症の1例

牧元有希¹ (まきもと ゆうき)、指宿敦子¹、中園美紗子¹、米倉健太郎²、金蔵拓郎¹、
江川形平¹

¹鹿児島大学 皮膚科、²今村総合病院 皮膚科

E-3-7

ベキサロテンで加療中の原発性皮膚 $\gamma\delta$ T 細胞リンパ腫の1例

倉片彬臣 (くらかた あきおみ)、卜部紘衣、内田百佳、荒瀬琴乃、山田雄大、
近藤 諒、高橋 央、林雄一郎、濱田利久、菅谷 誠

国際医療福祉大学 皮膚科

E-3-8*

出血高リスク患者に対する左側腹部ランダム皮膚生検後の巨大皮下血腫に塞栓術・血腫除去術を要した1例

橋原 亮 (ならはら りょう)、持田耕介、川野正人、黒木脩矢、緒方 大
宮崎大学 皮膚科

E-3-9

ブレンツキシマブベドチンを投与したリンパ腫様丘疹症の1例

田中 翔 (たなか しょう)、富江玲那、浦上貴弘、植村彩記、藤本友紀、津田真里、
寺井沙也加、中谷佳保里、槇村 馨、清原隆宏

関西医科大学総合医療センター 皮膚科

15:45~16:35 一般演題 13 【間葉系腫瘍】

抄録 P. 144

座長：藤村 卓 (東北大学 皮膚科)

中野 英司 (国立がん研究センター中央病院 皮膚腫瘍科)

E-4-1

重粒子線治療により手術回避が可能であった右上腕未分化多型肉腫の1例

井上禎夫¹ (いのうえ さだお)、宋 基旦¹、長谷川絢哉¹、碓 真雄¹、阿部夏実¹、
小森崇矢¹、龍野康弘²、宮坂勇平³、中村泰大¹

¹埼玉医科大学国際医療センター 皮膚腫瘍科・皮膚科、

²埼玉医科大学国際医療センター 放射線腫瘍科、³群馬大学 放射線治療科

E-4-2

隆起性皮膚線維肉腫の水平方向の切除マージンに関する検討

岩澤億斗 (いわさわ おくと)、宮川卓也、松崎友里江、山本史徳、宏洲あさひ、
森 瞳子、盛田紘有、大熊香織、尾松 淳、柴田 彩

東京大学 皮膚科

E-4-3*

頭蓋骨破壊を伴う頭部皮膚血管肉腫の2例

田中有沙 (たなか ありさ)、今福恵輔、宮本航大、成瀬早紀、佐藤聡真、田中 諒、
樋口和樹、氏家英之

北海道大学 皮膚科

E-4-4

パクリタキセル不応後の頭部血管肉腫に対するエリブリン投与5例の後方視的検討

田中 諒 (たなか りょう)、宮本航大、今福恵輔、樋口和樹、佐藤聡真、成瀬早紀、
田中有沙、氏家英之

北海道大学 皮膚科

E-4-5*

30 歳女性の左前腕伸側にみられた色素性類上皮黒色腫の 1 例

井上愉理靖¹ (いのうえ ゆりやす)、宗元紗和¹、福永 淳¹、秋岡二郎²、森脇真一¹

¹大阪医科薬科大学 皮膚科、²あきおか形成外科

E-4-6

Bednar 腫瘍の 1 例

稲垣みゆき¹ (いながき みゆき)、田中隆光¹、竹内周子¹、林耕太郎¹、鎌田昌洋¹、
菊地良直²、笹島ゆう子²、多田弥生¹

¹帝京大学 皮膚科、²帝京大学 病理診断科